

大の字

畳の魅力は、「伝統」から「環境」建材へ



畳床「大の字」は主要構成材を国産資源化することで輸入原材料の調達リスクを解決し、化石資源への依存を95%低減(※1)させた持続可能な畳床。

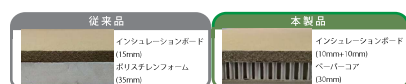
※1. 従来畳床 50mm2 層 (JIS A5914 KT-II) との比較 化石資源使用量体積比

未来の畳産業と環境を守るために、日本の資源で作りました

1 ポリスチレンフォームに代わる ペーパーコア

ほぼ全ての畳床にはポリスチレンフォームが入っています。

近年のポリスチレンフォームの「調達リスク」と「環境負荷の低減」を実現する素材として再生紙ペーパーコアを採用。



ペーパーコアの特徴



畳床 JIS 試験基準をクリアし、多湿環境下における強度試験も実施。

2 環境課題に答える床材

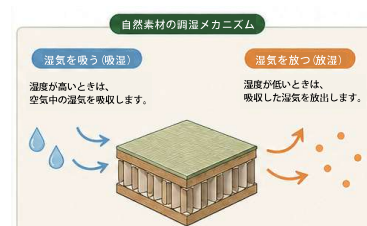


古材を活用した木質ボード材と再生紙ペーパーコアによるリサイクル資源素材で作られた畳床。



3 自然素材で調湿効果

自然素材で作ることによって畳の調湿性能が高まり吸湿・放湿が行われ、爽やかな室内環境を作り「大の字」で寝転ぶような健やかな畳生活を提供します。



爽やかな室内環境を実現